

**令和 7 年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会
第 3 回会議 会議録**

日 時：令和 8 年 3 月 16 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

場 所：笛吹市役所市民窓口館 3 階 302・303 会議室

出席者：◇社会教育委員（敬称略）

堀内智恵子、霜村文晴、田中親吾、渡邊真史、廣瀬志保、坂野修一

内田勝也、加々美恭子、金子津多恵、中楯文仁、石倉絹子、中村久美子

吉岡弘子、原百枝

◇教育委員会

手塚教育部長、角田文化財課長、松本図書館長

◇事務局

早河生涯学習課長、生涯学習担当 河西リーダー、日下、角田

欠席委員（敬称略）：立川誠

【進行：生涯学習課長】

次第 1 開会のことば

次第 2 議長兼会長あいさつ

＜議長兼会長＞ 本日は忙しいなか、大勢の皆様に出席していただき感謝しています。今年度も社会教育委員の皆様と市教育委員会の皆様から、多大なる指導と支援をいただき感謝しています。今年度の最後の会議になりますので、内容的に事業報告が中心になると思いますが、それに対して感想や意見など積極的に発言をお願いします。それぞれ皆様の立場で日頃活動している内容や地域の住民から聞いた声を積極的に述べてもらい、互いに学び合う機会にしたいと思います。社会教育委員は、住民と行政を繋ぐパイプ役と言われていますが、まず「知る」ことから始めることが大切であると思います。学習の機会は非常に大切だと思います。市の社会教育がさらに充実したものになりますよう、皆様の協力をよろしくお願いします。

次第 3 会議録署名委員の指名について

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 4 条第 2 項に基づき、石倉議長から金子津多恵氏が会議録署名委員に指名された。

次第 4 議事

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 4 条第 2 項及び笛吹市公民館運営審議会規則第 4 条の規定により石倉議長が議事進行を行う。

社会教育委員の会議

(1) 市社会教育事業報告について

生涯学習課、図書館から説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

- ＜委 員＞ 俳句会について、市内の小中学校 19 校から俳句作品を応募させていただき、全国小中学校や海外に俳句が広まって、素晴らしい取組みであることを改めて感じました。表彰式に出席しまして、全国から大勢の児童生徒や保護者の方も出席していただき、笛吹市が俳句に取り組んでいることを知るきっかけになったことを感じました。来年度、俳句会が 30 回を迎えるとのことで盛大に取り組んでもらいたいと思いました。
- ＜委 員＞ 表彰式に出席しまして、子ども達の感性について学校行事や地域の出来事を様々な表現の仕方が出来ていたと思いました。笛吹市が飯田蛇笏・龍太の生誕地であることから、俳句の里として文化的に良い取組みであることを感じました。昨今、学校現場の立場として作品募集の関わり方が難しい話を聞きましたが、学校の教科書や体験学習で学べないことがあるので、笛吹市に来てもらえる素晴らしい取り組みですので、俳句会は継続して活動してもらいたいと思いました。
- ＜委 員＞ 私は、保護司を務めていますが、先日保護司の会議の中で学校に人権作文コンクール依頼について議題がありました。会議の中で、学校へ作文の取りまとめ作業が学校に負担がかかっていることから学校へ依頼することを縮小していく説明がありました。各種団体へ学校現場の負担軽減のため、応募方法の見直しをするように言われ応募数の減少が懸念されると思いますが、笛吹市の俳句会は長年継続してきた大会である

ので、来年度 30 回目を迎える節目の年で、これからも末永く頑張って継続してもらいたいと思います。

＜生涯学習課長＞ 文部科学省の方から学校を介さず応募することが可能であるよう応募方法の見直しを図るように通達がありましたが、こちらでも研究を重ねながら、学校の負担をかけない申込方法を考えてますので、来年度は 30 回目を迎えますので応募数を減らさないように努力していきます。アイデアがありましたら、よろしくお願いします。

＜議 長＞ 俳句会表彰式のことに関して、私も参加させてもらいまして、この会議で市内中学生の出席率が良くない意見があり、教育委員会を中心に表彰式の出席するように呼びかけを強めてくれたおかげで、盛大に表彰式が開催できたことに感謝しています。

＜委 員＞ スコレー大学について伺いたいですが、県立美術館と連携した講座を企画していますが、過去に県立博物館と連携した講座を企画したことがあるか教えてもらいたいです。

＜事務局＞ これまで県立博物館と連携した講座は企画したことがないです。今年度スコレー大学で、県立科学館と連携した講座を企画しました。

＜委 員＞ 県立博物館は、様々な企画展を開催しているので、市民の方が多く参加してもらえるように是非スコレー大学の講座で企画してもらいたいです。

＜事務局＞ 検討させていただきます。

＜議 長＞ 私もスコレー大学や市民講座について伺いたいですが、参加費が無料の講座が多いが、何か理由があるのでしょうか。

＜生涯学習課長＞ 無料の理由は、講師代予算の中で材料費などがある程度予算内に収まることから、資料代と別途負担はかかりますが参加

しやすいように講座を企画しています。

＜委 員＞ 昨年度に開催したオペラのスコレー大学について、私も参加しましたが、一般の方でも参加出来たり空いている時間で楽しく勉強させてもらいました。今後も同じような講座を企画してもらいたいです。

＜委 員＞ 市民講座について２点教えてもらいたいです。１点目は、例えば料理系講座の講師の方は、食品衛生管理者の資格を持っているのか教えてもらいます。２点目は、講座を企画する際に、先に講師を決めて講座を企画するのか、それとも講座を企画したら講師の依頼をするのか教えてください。

＜事務局＞ １点目は、資格取得していることは確認していませんが、例えば県生涯学習センターで開催している同じような講座がありますが、そこで経験のある方に講師の依頼を行ったり、他にも地元でマルシェを経験している方などを中心に講師の選定を行っています。２点目は、結論から申し上げますが実際のところどちらともあります。スポーツ系や料理系などの講座を企画する時に特定の講座に偏らないように、話し合いしながら講師の選定を行っています。

＜委 員＞ 私は、芦川の直売所で食品を卸していたことがあり、去年６月に食品衛生法の改正がありまして、漬物などが出せなくなったことがありました。そんなことがありましたので市民講座にも影響があると思い確認しました。

＜委 員＞ 学びの杜みさかについて、周りから聞いた話では、改修工事が延長されるようで４月から開館するのが困難であることを聞きましたが、御坂図書館は４月２日から開館する予定ですが、詳細を教えてください。

＜事務局＞ 学びの杜みさか改修工事について、年度末に終了する予定でしたが、電気設備の部品が入ってこないことにより工期が延長になります。施設全体の電力を賄うことができませんので施設の貸出は困難であり、予定では９月末まで休館になります。

す。御坂図書館は、4月2日から開館する予定です。

<議長> それについての周知はしているのでしょうか。

<事務局> 工事の延長は最近決まりましたので、市民の方にホームページや広報等で周知していきます。御坂図書館の開館も同時に行います。

<議長> 八代総合会館改修工事の進捗状況はどうでしょうか。

<事務局> 八代総合会館は今年5月末までの予定でしたが、同じく電気設備の部品が入ってこないことで、工事の工期が7月末まで延長になります。8月から八代図書館と同時に開館予定です。

<議長> 図書館長に伺いたいですが、休館に伴い何か影響はありましたか。

<図書館長> 御坂図書館や八代図書を利用されている方だと思いますが、他の図書館を利用しています。石和図書館は400人から500人増えており、一宮図書館は200人以上増えています。本の貸出人数について、石和図書館は500人から700人、一宮図書館は100人以上に毎月増えている状況です。

<委員> 石和図書館2階読書室について、私は朗読ボランティア活動をしていまして、広報の録音をするために石和図書館へ読書室貸出をお願いしたところ、登録団体でないと貸出しは行っていないことを話され借りることが出来ませんでした。他にも、そのような話がありましたので確認のため貸出の規則について教えてください。

<図書館長> 読書室自体は一般に貸出を行っていないです。ただ、読書活動として朗読ボランティア団体や市の広報吹替えを行っている団体については、特別に貸出を行っています。

<委員> 朗読ボランティアも複数の団体がありまして、登録団体でないと利用することができないことがいかななものだと思います。

す。同じく目的で活動していることなので貸出についてどう
考えいるでしょうか。

＜図書館長＞ 持ち帰り確認します。

＜委員＞ 市民講座について、笛吹高校と連携して生徒が講師として講座を企画してもらいました。前回の会議でも講座企画をお願いしましたが、前期市民講座一覧表になかったので、今後の予定を教えてください。

＜事務局＞ 笛吹高校と連携したパソコン講座は好評だったので、前向きに検討させていただきます。後期講座もありますので改めて調整させてもらいたいです。今後ともよろしくお願いします。

(2)山梨県社会教育委員連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

公民館運営審議会

(1) 山梨県公民館連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

＜議長＞ 私も長年社会教育委員の議長を務めていますが、公民館運営審議会会長を兼ねているなか、公民館の位置づけがわかりづらい部分があることを感じています。旧町村時代は、社会教育施設のことを公民館と言っていましたが、現在は、地区の集会所や集落センターなどを公民館と呼んでいます。地域の方にとっては、身近にある集会場所のことを公民館と言っていますが、私達社会教育委員が中々、地域の活動に参加できていないことで公民館活動の捉え方が難しいことを感じています。公民館について、何か意見があれば発言をお願いします。

＜委員＞ 議長の発言とおり、地域の方は公民館全体の組織図がわかっていないと思います。私も様々な役職を通じて、例えると学びの杜みさかが御坂地区の中央公民館であることを認識して

いますが、地域の方にはそういう認識がないと思います。希望とすれば公民館の組織図が分かるようにしてもらいたいです。少なくとも行政区の区長に公民館の組織について、知ってもらう必要があると思いますので、そのことが明確になれば地域にとって前向きな方向性などの意見が出てきて活性化に繋がると思います。

＜委 員＞ 私も公民館の組織を明らかにする場合に、考えてもらいたいことがあります。地区の集会所や集落センターの老朽化が進み、人口減少の影響で維持管理を負担する行政区が施設の維持管理に苦慮していると思います。地域で集まる集落センターなどの場所が、中央公民館と同様な機能を維持するには困難であると思うので、運営や維持管理などをまとめた公民館のあり方を地域に方針を示せるようにして、行政区が考えて管理してもらいたいと思います。

5 その他について

【質問意見等】

＜委 員＞ ふえふき文化スポーツ振興財団からは、様々なイベントや講座を企画しています。来年度の計画については理事会の承認が得られないと発表ができないので、時期が入りましたらお知らせしたいと思います。よろしくお願いします。

＜委 員＞ 前回会議でふえふき文化スポーツ振興財団へ提案した件につきまして、会議の後に迅速に対応していただきありがとうございました。

先日、富士見小学校において「寺尾の太々神楽」鑑賞会が行われました。石和町には元々、砂原地区や河内地区に太々神楽がありましたが、伝統が絶えてしまいました。境川町寺尾地区から関係者の方に来てもらい、子ども達へ披露してもらいました。参加した子ども達へ伝統文化を知ってもらう機会になったので、伝統文化を継承していくことが大事なことであったと思います。

あと、質問になりますが笛吹市に「ふるさとかるた」と言うものはありますか。もし、ありましたら既存かるた

の内容を見直ししてもらいたいと思います。笛吹市全体を考えると歴史的な文化や偉人を輩出しているので、突き詰めていくと笛吹市の魅力溢れるかるたになると思っています。子ども達に自分のふるさとを知ってもらうきっかけになり、作成することを考えてもらいたいです。

＜委 員＞ 笛吹市内の各町には70年近くの歴史があり、三番叟や子供囃、天雷太鼓などの伝統芸能や各町の郷土歴史研究が文化協会に残っています。文化協会の写真部や絵画部が様々なものを撮り溜めた資料を使って、市民参加型でかるたを作成したことがあります。子どもから高齢者まで様々な人達がふるさとを知ったり、地域の文化がいつまでも続くようにそういったものが必要だと思います。

＜委 員＞ 思い出した話になりますが、学びの広場ふえふきの活動で境川小学校に赴任した時期の約16年前に地域にまつわる昔話などを題材に、児童生徒がかるたや紙芝居の作成をしました。実際に境川小学校や石和西小学校で作成した紙芝居が残っており、今でも読み聞かせに使わせてもらっています。それと同時に石和南小学校でもかるたを作成した記憶があります。現在はその作成したかるたが残っているかわかりませんが、学びの広場ふえふきが市から補助金を受け活動をしていました。学びの広場ふえふきと文化財課が連携して「ふるさと探訪」という事業で市内の史跡を巡って、子ども達に文化に触れ合う活動をしています。財産として、ものづくりして残していくことも大事なことでと思います。

＜議 長＞ 良いアイデアが出たと思いますので、是非前向きに検討してもらいたいと思います。文化協会や学校と連携出来ることがあれば積極的にやっていきたいと思います。

＜生涯学習課長＞ 報告になりますが、境川町の山廬・俳諧堂が飯田蛇笏・龍太の子孫である飯田秀實氏から寄付を受けまして、4月から市の施設として開館を進めています。水曜日を休館日として週 6

日開館としてオープンします。大人 300 円の入館料がかかりますが是非、足を運んでいただければと思います。よろしくお願いします。

次第5 閉会のことば